

地域のひろば

※新型コロナウイルス感染症の影響により掲載事業が中止・延期となる場合があります。詳細は各施設ホームページでご確認ください。

本 本庁舎

湯 湯津上庁舎

黒 黒羽庁舎

体 県立県北体育館

A A別館

家康も大田原にやってきた？

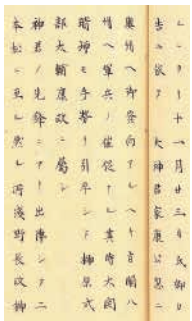
今年の大河ドラマの主人公は、徳川家康です。ところで、「家康は大田原に来たことがある（かもしれない）」ということは、ご存知ですか。

天正18（1590）年7月、小田原の北条氏が豊臣秀吉に降伏しました。秀吉は、宇都宮と会津で戦後処理（仕置）を行い、秀吉の「天下御一統」が完成するはずでした。ところが、9月に秀吉が帰京すると、仕置に反発する動きが奥州各地で続発しました。家康はこの動きに備え、関東の諸將に軍勢催促を行いました。黒羽城主の大関晴増は、榊原康政に属して二本松へ出陣したといわれています。

翌天正19年6月、秀吉は本格的な鎮圧のため大將を豊臣秀次、副将を家康とする大軍を派遣します。家康は、7月19日に江戸を出陣し、同27日までは白河に着陣していました。

さて、この時「家康が大田原にやってきた」と書いてある史料は、残念ながらありません。しかし前年、秀吉は白河で宿泊する前に大田原に滞在しています（蜂須賀家文書）。また、大將の秀次は、8月2日に大田原に着陣しています（上杉家文書）。これらをふまえると、家康は、天正19年7月26日（現在の9月13日）頃に大田原に着陣していた可能性が高いと考えられます。

奥州へと向かう家康が、実は奥州と関東の境目の大田原で小休止していた…かもしれません。



大関晴増の出陣（黒羽芭蕉の館所蔵）

問 那須与一伝承館

TEL 0287(20)0220

那須与一伝承館通信 第80回

トピックス

健康
おわたわら塾

子育て

健康・福祉

年金・国保

税

くらし

文化・教養

スポーツ

産業・雇用

教育

イベント

地域のひろば

スナッパ
おわたわら

黒羽芭蕉の館だより 第91回



今回は「大関家文書」の中から「下野室八島考・下野室八島図」を紹介いたします。本作品は、上段の大関増業（1782〜1845）撰文になる「下野室八島考」と下段の小泉斐（1770〜1854）による「下野室八島図」から構成され、塙板（斐独自の版画技法）による摺り物となっています。掛軸に仕立てられ、本紙の寸法は、縦60・8cm、横39・2cmです。

「下野室八島図」は、文化13年（1816）春、黒羽藩11代藩主大関増業の命により、鎮国社神主で絵師の小泉斐が黒羽藩領内の「室」の名がつく八つの集落（逃室・薄室・柏室・室の井・板室・数ヶ室・岡室・大野室）を鳥瞰図式に描いたものです。

「下野室八島考」では、増業自身が「那須の岳」に登山した際の実景などにも言及しながら、「世の人々は室の八島は結城や壬生の近くにあると言っているが、実は那須野にあるのだ」と述べています。本作品は、学芸面で深い交流をしていた増業と斐による貴重な合作と言つことができそうです。現在、当館大関記念室で展示中ですので、ぜひご覧ください。

問 黒羽芭蕉の館

TEL 0287(54)4151



下野室八島考・下野室八島図（黒羽芭蕉の館所蔵）

子ども未来館のお知らせ

- 開館時間…午前9時～午後5時
- ※わくわくランドは、当面の間クール制（時間制限・入場者数制限）を実施しています。クール制時は午後4時30分まで。
- 入館料…1歳～小学6年生のお子さま一人につき200円（保護者・1歳未満のお子さま無料）
- 休館日…2月6日㊟、3月6日㊟、4月3日㊟（毎月第1㊟）
- ※最新の開館情報や感染症対策の詳細はホームページでご確認の上、ご来館ください。



～春よ来い！トコトコ池で魚釣り～

- 春まつり日程
- ・3月11日㊟・12日㊟
各クール50名
- ・3月13日㊟
各クール30名



🌸探してみよう！シリーズ④🌸

今回の「〇〇探し」は、「寒い日に食べたい、お鍋の具材探し」です。君が好きな具材で今夜はあつあつお鍋ができるかな？



🌸わくわくクリスマスパーティー（報告）🌸

12月24日と25日に遊びに来てくれた子どもたちへ、かわいらしいプレゼントをお渡ししました。ニコニコ笑顔の子どもたちです。



問 子ども未来館 TEL 0287(47)4125

自然観察館だより

TEL 0287(28)3251



休館日:毎週月曜(祝日を除く)、祝日の翌日(日曜を除く)
■開館時間…午前9時30分～午後4時30分
※7・8月は午後5時まで開館(入館は午後4時まで)

■本と本物展 ～図鑑と昆虫標本を比較展示～

図鑑で見たことのある大きくてきれいなチョウ、その本物(実物)を見てみたいと思いませんか。

この展示では、本や図鑑などに載っている昆虫とその本物を一緒に観察できます。本物は凄いですよ!



■生きているカブトムシやクワガタムシがいるよ!

「冬なのに生きているんですか?」と質問されることがありますが、当館では生きているカブトムシやクワガタムシを一年中飼育展示しています。寒い時期はマットに潜っていることが多いですが、エサを食べているときはしっかり観察できます。現在、ヘラクレスオオカブトやオオクワガタ、ニジイロクワガタなど全部で9種類を展示しています。



ニジイロクワガタ

■自然観察会(早春のふれあいの丘探鳥会)を開催

3月のふれあいの丘で、暖かくなってきた陽光を感じながら野鳥や植物の小さな変化を観察しましょう。

●日時…3月11日(土)午前9時～11時30分(雨天中止)

●集合場所…ふれあいの丘駐車場 ※のぼり旗が目印

●対象者…どなたでも(小学生以下は保護者同伴)

●定員…20名(先着順)

●費用…300円(野鳥の会会員100円、中学生以下無料)

●持ち物…雨具、筆記用具、双眼鏡(当館でも用意しています。)

●申込方法…2月18日(土)～3月7日(金)に、電話(午前9時30分～午後4時)で申し込み

●その他…大田原理科クラブと日本野鳥の会栃木県支部との共催

※水芭蕉も観察できます



令和4年3月27日撮影の水芭蕉

■臨時休館のお知らせ

3月14日(土)～17日(金)は展示替えのため臨時休館となります。

天文館だより

TEL 0287(28)3254



休館日:毎週月曜(祝日を除く)、祝日の翌日(日曜を除く)
■開館時間…午後1時30分～9時
(入館は午後8時30分まで)

■星空情報

今年のシリウスはおもしろい!

午後6時の南西の空に、冬の大三角が目立つようになりました。その中でも一段と明るい星がおおいぬ座のシリウスです。全天で一番明るい恒星で、その明るさは-1.4等、白い色をした高温の星です。



シリウスA(天文館)

そのシリウスですが、伴星(シリウスB)を持つことでも有名です。伴星とは主星の近くで公転しているもう一つの恒星のことで、シリウスBは、楕円軌道をおよそ50年の周期で公転しています。かつてシリウスAよりも質量の大きな星でしたが、そのために早く燃え尽き、今ではごく弱い光しか発していません。2つの光度差があまりにも大きいため、シリウスBを見るのはとても難しいです。(リゲルにも伴星がありますが、こちらは見分けるのが容易です。)

しかし、今シリウスA・Bの距離が大きく離れていて、伴星Bを見る絶好のチャンスと言えます。

ぜひ天文館の望遠鏡でチャレンジしてください。



リゲルと伴星(国立天文台)

■主なイベント(2月中旬～3月)

①冬の天の川を見よう

●日時…2月15日(土)～17日(金)・19日(日)
午後7時10分～9時

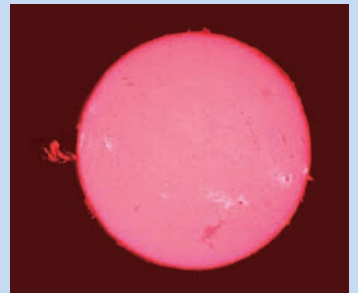
●内容…双眼鏡や望遠鏡を使ってオリオン大星雲やプレアデス星団(すばる)など、冬の天の川とそこに点在する天体を観望します。

②街角観望会(太陽を見よう)

●日時…3月4日(土)午後2時～4時

●場所…中央多目的公園

●内容…公園内に望遠鏡を設置し、太陽表面の黒点やプロミネンスを観望します。どなたでも参加できます。



太陽(天文館)

③写真撮影会(冬の大三角を撮ろう)

●日時…3月11日(土)午後7時10分～9時

●内容…ベテルギウス、シリウス、プロキオンを結ぶ冬の大三角や、明るく輝く1等星ばかりを結んでできる冬のダイヤモンドなどを撮影します。

詳細は天文館ホームページをご覧ください